ＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる 新函館

1
January
2019
No.
197

新年号

新年のご挨拶

われら亥年

年末年始の営業時間のお知らせ

JA 新はこだて

新年明けましておめでとうございます

新函館農業協同組合
代表理事組合長
輪島　桂

新年あけましておめでとうございます。

平成三十一年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。また、平素より、ＪＡ新はこだて並びにＪＡグループの事業・運営に特段のご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、様々な出来事がありましたが、年当初の大雪は、雪国北海道はもちろんのこと、関東甲信で4年ぶりの警報をもたらす近年では類をみない雪害を見せました。２月には、韓国で行われた平昌五輪での日本選手の大活躍、７月の西日本豪雨被害、９月には皆様の記憶にも新しい、台風21号の北海道上陸により施設の損壊、農作物への被害を及ぼし、復旧もままならないまま９月６日の平成30年度北海道胆振東部地震発生により、道内各産業に大きな爪痕を残しました。地震の二次的災害といえる、発電所の停止による全道一斉停電においては、数日間に亘り、道民の生活そのものが停止状態となり、通常の生活がいかに電気に依存しているかを感じさせられました。農畜産物においては、生乳の廃棄、農産物集荷や共選作業並びに市場出荷にも混乱を及ぼした他、ＪＡとまこまい広域におかれましては、組合員等を含む関係者が地震による地崩れでお亡くなりになり、被害に遭われた方々に心よりご冥福とお見舞いを申し上げるところです。

海外に目を移しますと、国際貿易交渉については、昨年の９月末に、日米両国間でＴＡＧ（日米物品貿易協定）の交渉開始を合意したことが発表されましたが、選挙による米国の内政の混乱により、過去に合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があり、注視することが必要と感じております。更に、環太平洋連携協定（ＴＰＰ）の米国脱退を受けて、我が国を含む参加11カ国は、３月にＴＰＰ11として合意し、更に包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定（ＣＰＴＰＰ）となり、ＴＰＰとは別の条約として作成されました。日本は予定通り２０１９年に発効することを目指しますが、このＣＰＴＰＰは一致団結して自由貿易を推進し、保護貿易主義的政策をとるトランプ政権を牽制するというシグナルにほかなりません。

管内の農業については、２月に米の食味ランキングが行われる予定ですが、ふっくりんこが『特Ａ』復活出来ることを願っております。販売取扱額について、青果物は台風及び地震の影響により、一部品目で価格が低迷しましたが、終盤での高値推移と酪農畜産での乳用牛の価格が好調であることなどにより、一昨年、昨年に引き続き、農畜産物合計では４年連続で３００億円に迫る取扱高を見込んでおります。これも組合員の皆様方の日頃の努力とＪＡへの結集の賜物と深く感謝申し上げるところであります。

今年度は、平成29年度～31年度における第５次の「地域農業振興計画」及び「中期経営計画」の最終年となります。基幹支店ごとに設定しました地域振興対策の実践状況の検証を行うとともに、組合員の皆様方のご協力も頂きながら、目標達成に向け、役職員一丸となり取り組んでまいります。

最後に、本年が豊穣で、組合員皆様にとって希望に満ちた良き年となることを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

ＪＡ新はこだて青年部
部長　**木村　卓也**

皆様、新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より私たち青年部の活動に対し、多大なご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ると、前年と同じ春先からの天候不順に「また今年も…」と、思った方々が多かったのではないでしょうか。

しかしながら、その後は天候も回復し、野菜等で少々の遅れはあったものの良い収穫期を迎えられたのではと思います。

その様な中、青年部と致しましても、更なる飛躍と強い繋がりを持つために、各種勉強会をはじめ、地域の枠を超えた交流会など、より一層の部員資質向上に日々励んでおります。

この先、農業情勢はさらに厳しいものになると予想されます。我々も農業、地域、家族を守るものとして様々な変化に対応し、これらの難局を乗り切らなければなりません。そのためにも、合併農協に属す私たちが地域を超えた協力をしっかりと考え、農業振興はもとより強い想いを持って青年部活動に邁進してまいります。

本年も組合員の皆様並びにご家族、青年部盟友の皆様にとりまして、ご健康でご多幸、そしてなにより豊穣の年となりますようご祈念申し上げます。また青年部活動への変わらぬご理解とご支援もお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

ＪＡ新はこだて女性部
部長　**田原　和子**

あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より女性部活動に多大なるご理解とご協力を頂いて居りますこと、心より感謝申しあげます。

昨年は、台風21号の上陸、その翌日に北海道胆振東部地震が発生し、41名の尊い命が失われ、農業にも甚大な被害をもたらしました。又ブラックアウトと呼ばれる長時間にわたる停電とその影響も大きく、深く考えさせられる事の多い大変な年になってしまいました。

新年を迎え、気持ちを切り替え、「今だけ、自分だけ、金だけ」ではなく、他人への配慮を大切に、互いに助け合い、譲り合う『協同の精神』を、今一度再確認したいものです。

近年、女性の活躍が望まれる折、女性が経営に関与することで、経営の質が高まったと言うデータがあり、若い女性の活躍が見受けられます。

ますますグローバル化や、スマート農業が進む現状を考えますと、若い世代を応援し、支えることの出来る私達でなければなりません。その為に女性部活動を通し、研修を深め、心身共に美しく輝けるように切磋琢磨して参りたいと思います。

命を守る、力強い農業を目指し、今年こそ豊穣の秋となりますよう頑張っていきましょう。

本年も女性部活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げると共に、組合員の皆様並びにご家族、女性部員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

新函館農業協同組合

会長理事　畠山良一
代表理事組合長　輪島　桂
代表理事専務　田中猛一
常務理事（信用・共済担当）　西村安弘
常務理事（企画管理・信用共済委員長、大野・上磯地区運営委員長）　二本柳　寛
理事（営農販売・経済委員長）　春山豊満
（森地区運営委員長）　平田克則
（北渡島地区運営委員長）　髙瀬幸巳
（せたな地区運営委員長）　舟田進一
（南渡島地区運営委員長）　横道重人
（七飯・函館地区運営委員長）　吉田成三
（南檜山地区運営委員長）　浅野宏隆
　伊勢谷達志
　時田孝喜
　松本一徳
　山下敏雄
　三十尾昭一
　鈴木隆昭
　森　隆志
　加藤寛喜
　佐々木芳勝
　丹保勝也
　小笠原裕章

代表監事　落合　修
常勤監事　川端英裕
監事　鷲田寿永
　小澤大栄
　北村卓馬
参与　笠松悦子
　岡崎昭子

職員一同

㈱新はこだて協同

代表取締役社長　輪島　桂

社員一同

われら亥年の

亥年ってどんな年？ ～運気や兆候、戌年生まれの人の性格など～

運気や兆候

十二支では第12番目に位置します。「亥」ともされる動物の「猪」の肉は万病さえも防ぐ、予防する力があるとされており、亥年には「無病息災」の意味があるとされています。また、「猪」は神の遣いとも言われる動物で、運勢としては強運とのこと。目標に向かって突き進み、良い一年にしましょう。

亥年生まれの性格は？

自分の考えや行動に自信を持ち、意思が強固であると言われています。また、物事に没頭するため、研究者タイプでもあるそうです。「頑固」が強調されがちですが、その「一途」な姿勢に共感してくれる味方も多く、仲間には慕われることも多いとのこと。

今年の抱負

2019年も幕が開け、この輝かしい亥年生まれの方々に、「2018年を振り返った感想」と「2019年の抱負」を語ってもらいました。

せたな町
近藤（こんどう）　敬祥（たかよし）さん
昭和58年生まれ

昨年を振り返って
水稲農家として天候に悩まされ、不完全燃焼の一年でした。『ふっくりんこ』は例年ほどの収量が確保できて良かったです。

今年の抱負
家族のためにも怪我なく健康に、美味しい米を作っていきます。土地改良にも力を入れる年にしたいです。

乙部町
山科（やましな）　稔（みのる）さん
昭和22年生まれ

昨年を振り返って
今年は雪が多く、春先から忙しい1年でした。8月には、イチゴ『すずあかね』の生育が良く、安心しました。

今年の抱負
昨年よりもイチゴを多く収穫し、イチゴを作る仲間も増やしたいです。健康第一で好きな旅行にも行きたいです。

北斗市
中川（なかがわ）　揚平（ようへい）さん
昭和58年生まれ

昨年を振り返って
父から長ネギの担当を一任されました。頑張った結果が収量や売上に表れ、とても『やりがい』を感じた1年でした。

今年の抱負
今年も長ネギの良かった点や反省点を活かして、少しでも反収を上げられるように頑張ります。

知内町
手塚（てづか）　敏彦（としひこ）さん
昭和34年生まれ

昨年を振り返って
農作物は長雨による影響もありましたが、家族に怪我もなく、昨年は健康に過ごすことができました。

今年の抱負
ニラの収量、品質アップで所得向上を目指します。健康面では今年も1年、家族ともども健康に過ごしたいです。

森町濁川
豆沢（まめざわ）　俊二（しゅんじ）さん
昭和34年生まれ

昨年を振り返って
春の低温で促成トマトは苦しい時期もありましたが、夏秋の抑制トマトは高単価だったため、トータルは良かったです。

今年の抱負
今年、還暦を迎えるのでより健康に気をつけていきます。そろそろ後継者に経営を引き継ぎたいと思います。

七飯町
山田（やまだ）　康生（やすお）さん
昭和58年生まれ

昨年を振り返って
春先から自然災害の影響を多く受けた年ではありましたが、より一層管理作業を徹底して行い、良い花を栽培・出荷する事が出来ました。

今年の抱負
常に良いものを栽培出来るよう、試行錯誤し続けます。健康管理にも気を遣い、元気に農業を続けていきたいです。

本店
田村（たむら）　賢士（けんじ）職員
平成7年生まれ

昨年を振り返って
4月に企画室に配属され、あっという間に1年が過ぎました。わからないことが多かったですが、充実していました。

今年の抱負
まだまだわからないことだらけですが、組合員の皆さんや職員に頼られるよう成長していきたいです。

八雲町
北村（きたむら）　卓馬（たくま）さん
昭和58年生まれ

昨年を振り返って
昨年も規模拡大への投資と新たな挑戦をいくつか実践し、あっという間でした。充実した1年となりました。

今年の抱負
「やっぱり猪だね」って言われるぐらい、猪突猛進で打ち込みます。特に採卵数向上と子牛の事故低減には注力します。

えすぽわーる
NO.197／2019年1月号
CONTENTS

2 新年のご挨拶
4 われら亥年
6 トピックス 創立60周年記念研修／青年部が部員間交流　他
8 JAグループ通信
9 インフォメーション① 役員永年勤続表彰伝達式／「担い手直送規格」で農薬コスト低減／平成30年度渡島6次産業化推進検討会
10 インフォメーション② 映画『そらのレストラン』／企画管理・信用共済委員会視察報告／営農販売・経済委員会視察報告
11 年末年始の営業時間のお知らせ
12 今月の朝ごはん 根菜とミツバのおかゆ／切り干し大根とミツバのおひたし

えすぽわーる TOPICS トピックス

管内各地の旬な情報をお届けします。

㈱神戸物産でトマトの養液栽培の説明を聞く部員

森

森支店女性部が節目を迎える 創立60周年記念研修

森支店女性部は11月20日、21日の二日間、「創立60周年記念研修」を行った。部員6人とJA職員らが参加。

初日は鹿部町の道の駅で「間歇泉」が噴き出す様子や同町特産品「鹿部たらこ」など見て回った。二日目には、㈱道新総合印刷の函館工場（北斗市萩野33－69）で震度6強の地震に耐えることができる免震構造や同工場の印刷機械、折込機械などを見学。その後、七飯町の道の駅で直送される新鮮な野菜を買い込んだ。㈱神戸物産ではトマトの養液栽培によるメリットやパパイアの栽培に関することなどを学んだ。

同女性部の吉田愛子部長は「これからも女性部活動が続けられるように、『楽しく』『タメになる』活動に尽力する」と意欲を表した。

創立60周年記念研修に参加した部員

白熱したミニバレー大会

青年部

白熱したミニバレー大会 青年部が部員間交流

青年部は11月14日、北斗市の久根別体育センターでミニバレー大会を開いた。各地区の青年部員と職員含め36人が参加。

8チームが参加し、各コート4チームの総当たり戦で予選を行った。上位各2チームによる4チームが決勝トーナメントを戦い、南檜山地区青年部が優勝。

参加した田中裕明部員は「普段集まれない各地区の青年部が集まって、コミュニケーションをとる良い機会です」と話した。

「他の方の発表はとても勉強になりました」と平原さん。

八雲

全国大会で発表 第70回日本酪農研究会

11月14日、静岡県内のホテルで日本酪農青年研究連盟が主催する「第70回日本酪農研究会」が開かれた。全国から280人の研究会員が集まった中、当JAからは落部地区の平原美佳さんが、八雲女子研究会代表として参加した。

平原さんは『酪農と私と牧場の未来と』をテーマに、八雲町と静岡県のつながりや自身の牧場、これからの牧場についての夢と目標を語った。大会を終えて「他地域の人と交流でき、良い経験になった」と話した。

「函館育ちふっくりんこ」をPRする部会員ら

木古内

「ふっくりんこ」で消費者と交流 木古内町水稲研究会がPR活動

木古内町水稲研究会は11月18日、ホクレンショップ函館昭和店で「函館育ちふっくりんこ」を販売した。同会の役人4人と会員3人の他、JA職員ら3人が法被姿で新米のおいしさを呼びかけた。新米の試食やポケットティッシュの配布も行った他、購入者には人参と玉ねぎ、馬鈴薯の野菜詰め合わせセットをプレゼントした。

真部久会長は「対面販売は毎年、消費者と交流できる貴重なイベントの一つ」と話した。

最優秀賞を獲得した枝肉と川瀬夫妻

木古内

全22頭が集結し、肉質を競う 第17回北海道 あか牛枝肉共励会

11月16日、帯広市の㈱北海道畜産公社道東事業所十勝工場で「第17回北海道あか牛枝肉共励会」が開かれた。当管内からは木古内町の組合員4人が生産した8頭が出品された。

審査の結果、一般褒賞部門で池田町の長島典雄さんの典光晴号、あか毛和牛賞部門で木古内町の川瀬雄二さんの春菊号が最優秀賞に輝いた。その他、当JA管内からは東出雅史さんの鶴号が優秀賞1席、岡山徹さんの友太郎号が優良賞に選ばれた。

赤カブの皮むき作業をする部員

函館

毎年恒例の『赤カブ』漬物づくり 函館支店女性部加工部会

函館支店女性部の加工部会は11月14日、15日の二日間、部員の加工場で約300キロの赤カブを漬け込んだ。

赤カブは合成着色料を一切使用しないため、天然の鮮やかな紅色が特徴。1～2週間ほど塩漬けし、砂糖と酢を加えてさらに1週間ほど漬ける。その後、袋詰めして函館市内のスーパーなどで販売予定。

林佐喜子部会長は「これからも健康に気を遣いながら、できる限り漬物づくりを続けていきたい」と話した。

「取得した認証を継続していきたい」と高橋佐和子さん（左）。

若松

渡島・檜山で初めて ㈲高橋畜産が畜産物のJGAP認証取得

11月5日、せたな町の㈲高橋畜産は、道南の渡島・檜山地区では初めて「JGAP家畜・畜産物」の認証を取得した。

「JGAP」とは、労働管理や食の安全管理、動物の環境保全等に取り組む農場に与えられる認証で、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材調達基準の一つとなっている。

代表の高橋洋平さんは「2020年の東京オリンピック・パラリンピックの選手村で使用される食材を提供出来たら嬉しい」と話した。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月13日、JAグループ北海道の役職員はじめ約2400名が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。大会では、将来ビジョン『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。

JA北海道信連

9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになったみたい」とお札の束を広げる子も…。

未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思います。

ホクレン

北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年はJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび！」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。

JA共済連北海道

10月27日（土）にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

役員永年勤続 表彰伝達式

11月30日、第11回理事会会場（北斗市総合分庁舎）にて『役員永年勤続表彰伝達式』が行われました。組合の役員を通算3期9年以上在任した後に退任した方には当JAから感謝状と記念品が、通算5期15年在任した方にはJA北海道中央会から感謝状が贈呈されました。

表彰者

◇小野寺　仁（通算在任期間27年4カ月）
◇下川部　洋（通算在任期間18年0カ月）
◇齊藤　幸利（通算在任期間12年0カ月）
◇金子　周治（通算在任期間27年1カ月）
◇笠原　一雄（通算在任期間15年0カ月）
◇中富　清明（通算在任期間9年0カ月）

農薬コスト低減につながる「担い手直送規格」の取扱いを開始しました！

当JAはホクレンとタイアップし、農薬コスト低減を目指し、大型規格よりも更に大きな「担い手直送規格」の取扱いを開始しました。「担い手直送規格」は完全受注生産やメーカーからの直接配送など徹底した物流コストの削減により、同一農薬の通常規格品に比べ約10～20%のコスト低減効果が期待出来ます。今年の営農からメガ得「担い手直送規格」で更なる農薬コスト低減にチャレンジしませんか?

メガ得銘柄

【水稲育苗箱処理剤】
Dr.オリゼパディート粒（40kg）
アプライフェルテラ箱粒剤（200kg）
ツインターボ箱粒剤08（40kg）
ファーストオリゼパディート粒（40kg）

【水稲除草剤】
ウリホスフロアブル（20L×4）
アッパレZ1キロ粒剤（40kg）
アッパレZジャンボ（4kg×4）
ガンガン1キロ粒剤（40kg）
ガンガン豆つぶ（10kg）
トップガン豆つぶ（10kg）
トップガン1キロ粒剤（40kg）
ヤブサメ豆つぶ（10kg）

お問い合わせ・お申込みは 各支店生産資材店舗へお願いします！

道内で活躍する女性農業者のお話を聞いてみませんか?

～平成30年度渡島6次産業化推進検討会～

日時　平成31年1月22日（火）10:00～11:30（受付9:30～）
場所　北斗市農業振興センター農業総合研修室

講師
滝川市 こうざい農園
香 西 静 江氏

米＆野菜＆サツマイモ等を栽培する3代目。
菓子店との農商工連携、クラウドファンディングを活用した資金調達、自社ブランド真空パック焼き芋「紅甘雪（べにあまゆき）」の販売等を実践。

＊参加を希望される方は、渡島総合振興局農務課松田・三井まで
（TEL:0138−47−9497、FAX:0138−47−9212）

参加費は無料です！

映画「そらのレストラン」が2019年1月25日全国ロードショー

～せたなの〝海が見える牧場〟。豊かな自然が育む、チーズと仲間の物語。～

舞台となった『海が見える牧場』

せたな町で有機農業に取組む「やまの会」をモデルに、俳優の大泉洋さんが主役を演じる映画『そらのレストラン』が2019年1月25日に公開されます。

1日限定のレストランオープンに向けて「チーズ」と「仲間の絆」が描かれる感動ストーリー。

若松基幹支店からエキストラとして職員の参加と、スタッフやキャストの皆さんに農畜産物の差し入れも行われました。

せたな町の雄大な自然と仲間たちの友情をぜひ劇場でご覧ください。

映画『そらのレストラン』
出演：大泉洋　本上まなみ　岡田将生ほか　　監督・脚本：深川栄洋　脚本：土城温美
配給：東京テアトル　2019年1月25日（金）　全国ロードショー　　https://sorares-movie.jp
(C)2018『そらのレストラン』製作委員会

企画管理・信用共済委員会視察研修

◆日　程：平成３０年１０月３０日（火）～１１月１日（木）

◆参加者：輪島組合長、西村常務、春山委員長、横道副委員長、伊勢谷理事、小笠原理事、吉田理事、松本理事、加藤理事、笠松参与、岡崎参与

◆事務局：新谷部長、幸田課長

▲人参洗浄選別施設を見学

JAおとふけ・JAようてい

ＪＡおとふけ青果管理センターの施設整備の仕組みやＪＡようていの人参、馬鈴薯施設を京極町に集約する取組みなどについて学びました。当ＪＡにおける今後の施設集約に関して、『労働力省力化』を図ることの重要性を再認識しました。

▲搾乳ロボットを見学

農業生産法人シントクアユミルク

搾乳ロボット、牛舎自動換気システム、餌寄せロボット等の最新設備の導入による作業時間の大幅短縮や、酪農家の高齢化などに伴う後継者不足の解消に向けた研修体制の充実などについて、情報交換しました。

営農販売・経済委員会視察研修

◆日程：平成３０年１１月２７日（火）～２９日（木）

◆参加者：田中専務、二本柳常務、平田委員長、髙瀬副委員長、山下理事、丹保理事、時田理事、森理事、浅野理事、佐々木理事、鈴木理事

◆事務局：濱谷部長、南部長

▲「TACS しべちゃ」を見学

農業生産法人「TACSしべちゃ」/JAしべちゃ

釧路管内標茶町で平成２７年４月に稼働した「ＴＡＣＳしべちゃ」は農協出資型の酪農牧場。新規就農者の研修機能を併せ持ち、今後の担い手確保や離農跡地の有効活用など地域の生産拡大に向けた様々な取り組み実態を研修し意見交換を行いました。

▲ホクレン丸の前で集合

高速大型船「ほくれん丸」

釧路港から日立港（茨城県）へ季節ごとの農畜産物を載せ、年間を通じてほぼ毎日運航されています。ピーク時には１,０００ｔ／日の生乳が運ばれ、北海道全体の生乳の有利販売に大きく貢献しており、それら仕組みとホクレンの物流体制について学びました。

年末年始の営業時間

JA新はこだて		12/25～28 火～金	12/29 土	12/30 日	12/31 月	1/1 火	1/2 水	1/3 木	1/4 金	1/5 土	1/6 日	1/7 月	1/8 火
資材店舗・営農センター		通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業
金融窓口営業		通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業	休業	休業	通常営業	通常営業
ATM	金融店舗内	通常営業	休業（大野支店のみ14:00まで営業）	休業	休業	休業	休業	休業（全システム休止）	通常営業	休業（大野支店のみ14:00まで営業）	休業	通常営業	通常営業
ATM	スーパーアークス七飯サウス店内	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業～17:00	休業	休業	休業（全システム休止）	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業
ATM	ホクレンショップ森店内	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業～17:00	休業	休業	休業（全システム休止）	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業
ATM	Aコープやくも店内	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業（全システム休止）	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業
ATM	上ノ国支店資材店舗内	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業（全システム休止）	休業	休業	休業	通常営業	通常営業
ATM	ホクレン乙部給油所内	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業（全システム休止）	通常営業	休業	休業	通常営業	通常営業
あぐりへい屋		28日は休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業

㈱新はこだて協同		12/25～28 火～金	12/29 土	12/30 日	12/31 月	1/1 火	1/2 水	1/3 木	1/4 金	1/5 土	1/6 日	1/7 月	1/8 火
Aコープ	厚沢部	通常営業	通常営業	臨時営業 9:30～18:30	9:00～12:00	休業	休業	休業	休業	9:30～18:00	休業	通常営業	通常営業
Aコープ	館	通常営業	通常営業	臨時営業 9:30～18:00	9:00～12:00	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業
給油所	厚沢部・知内・木古内・大野・大中山・駒ケ岳	通常営業	通常営業	通常営業	8:00～15:00	休業	休業	8:00～17:00	8:00～17:00	8:00～17:00	通常営業	通常営業	通常営業
給油所	乙部・八雲・長万部	通常営業	通常営業	通常営業	8:00～12:00	休業	休業	8:00～17:00	8:00～17:00	8:00～17:00	通常営業	通常営業	通常営業
給油所	上ノ国	通常営業	通常営業	休業	8:00～12:00	休業	休業	8:30～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00	休業	通常営業	通常営業
給油所	若松	通常営業	8:30～17:00	臨時営業 8:30～17:00	休業	休業	休業	8:30～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00	休業	通常営業	通常営業
給油所	濁川	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	9:00～16:00	休業	休業	通常営業	通常営業
給油所	大中山ガス事業所	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業
整備工場	厚沢部	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	臨時営業 8:30～12:00	休業	臨時営業 8:30～12:00	休業	通常営業	通常営業
整備工場	知内	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	臨時営業 8:30～12:00	臨時営業 8:30～12:00	休業	休業	通常営業	通常営業
整備工場	八雲	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	臨時営業 8:30～12:00	休業	休業	通常営業	通常営業

えすぽわーる
第197号
平成31年1月1日発行
発　行／新函館農業協同組合
〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
電話／0138-77-5555　FAX／0138-77-5566
ホームページ／http://www.ja-shinhakodate.jp/
編　集／企画室　印　刷／有限会社　三和印刷

おいしく食べて　今日もスタート

今月の朝ご飯

永井智一
（ながい ともかず）

茨城県笠間市にある「キッチン晴人（ハレンジ）」のオーナーシェフ・永井智一さんに、元気が湧いてくる朝ご飯を教えていただきます。

朝ご飯の献立

レシピ1
根菜とミツバのおかゆ

レシピ2
切り干し大根と
ミツバのおひたし

レシピ1
根菜とミツバのおかゆ

材料（4人分）

米 …… 1/2カップ
水 …… 3と1/2カップ（7倍量）
ごま油…… 大さじ1/2
ダイコン…… 1/8本（短冊に切り下ゆでする）
カブ…… 1個（1/8に切り下ゆでする）
ミツバ…… 1/2束
塩 …… 適宜

作り方

（1）米をとぎ、ざるにあげ20分置いた後、ごま油を絡めておく。
（2）手鍋に水と（1）を入れ中火にかけ沸騰したら弱火にしてコトコト炊いていく。
（3）炊いていく途中で、ダイコンとカブを入れ塩で味を調え、刻んだミツバを散らして出来上がり。

レシピ2
切り干し大根とミツバのおひたし

材料（4人分）

切り干し大根 …… 30g
ミツバ …… 1束
かつお節 …… 適宜
だし汁
　かつおだし
　…… 1と1/2カップ
　薄口しょうゆ
　…… 大さじ1
　みりん …… 大さじ1
　塩 …… 小さじ1/2

作り方

（1）切り干し大根を水で戻し、固く絞っておく。ミツバは1cm幅に切る。
（2）だし汁を沸かし、切り干し大根を入れて弱火で10分煮て冷ましておく。
（3）ボウルに切り干し大根とミツバを入れて混ぜ合わせ、器に盛りだし汁を適量張り、かつお節を散らして出来上がり。

ポイント

炊き上がりまでの時間の目安は２０～３０分

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。昨年を振り返ると、4月から広報担当として組合員さんと接する機会が増え、農協職員として大変勉強となった一年でした。特に組合員さんの農業に対する思いなどを直接聞くことができたのは、私にとって一生の良い経験になったと確信しております。

昨年、経験したことを活かし、皆さんに「えすぽわーる」をもっともっと楽しみにしてもらえるよう、努力してまいりますので、今年もよろしくお願いします。

皆さんからの面白いコメントをお待ちしております。

（翔）

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook　検索

まるめ郎アルバム

紅葉の秋が過ぎて、すっかり寒くなったね。
皆さん冬の運転は気を付けましょう!!

緊急時のご連絡先

※業務時間内（平日9時～17時）にはご契約の支店にご連絡ください。

お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
（JA共済事故受付センター）

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
（JA共済サポートセンター）

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
（JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター）

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
（三菱UFJニコス㈱盗難紛失受付センター）

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。